

学校法人大阪産業大学  
大阪産業大学短期大学部  
機関別評価結果

平成 21 年 3 月 24 日  
財団法人短期大学基準協会

## 大阪産業大学短期大学部の概要

|       |                  |
|-------|------------------|
| 設置者   | 学校法人 大阪産業大学      |
| 理事長名  | 古谷 七五三次          |
| 学長名   | 籠谷 正則            |
| A L O | 横井 雅之            |
| 開設年月日 | 昭和41年4月1日        |
| 所在地   | 大阪府大東市中垣内3丁目1番1号 |

## 設置学科及び入学定員(募集停止を除く)

| 学科     | 専攻 | 入学定員 |
|--------|----|------|
| 自動車工学科 |    | 200  |
|        | 合計 | 200  |

## 専攻科及び入学定員(募集停止を除く)

なし

## 通信教育及び入学定員(募集停止を除く)

なし

## 機関別評価結果

大阪産業大学短期大学部は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 21 年 3 月 24 日付で適格と認める。

## 機関別評価結果の事由

### 1. 総評

平成 19 年 7 月 23 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」が確立しており、自動車工学科の人材の養成に関する教育上の目的が学則に定められている。また、教職員や学生に学生便覧、ウェブサイトなどを通じて周知されている。

自動車工学科の教育課程は教育目的に基づいて体系的に編成されている。シラバスは年度初めに全学生に配布され、授業の概要を示す十分な内容を有している。

専任教員数は、短期大学設置基準を充足している。図書館は併設四年制大学の図書館と共用しており、蔵書数、学術雑誌、AV 資料、施設設備、年間の図書予算などは、十分なものといえる。

各授業科目の特性に応じた方法によって、成績評価及び単位認定が行われている。資格取得への取り組みは二級自動車整備士以外に、各種資格の取得率が高い実績がある。四年制大学への編入には適切に対応しており、教育目標の達成に向けて努力が認められる。

入学選抜方針・方法の記載、受験生に対する対応は適切であり、入学者の選抜は公正かつ正確に実施されている。入学者に対する学習や学生生活のためのオリエンテーションは適切に行われている。専任教員による職場開拓、企業訪問、就職相談が行われており、併設四年制大学の学部への編入学のシステムも整備されているなど進路支援が適切に行われている。

教員の研究活動には個人差が認められるものの、その活動状況が学内外に公開されるとともに、数年間にわたるグループ研究やプロジェクト研究に組織的に取り組み、外部からの研究資金調達にも実績をあげており、おおむね円滑に展開されている。

併設四年制大学の市民講座に当該短期大学として参加しているが、回数や講座が少なく、より積極的なかわりが期待される。留学生の受け入れは極めて積極的で、教育課程の中に日本語や日本文化への理解を深める工夫がみられる。

理事会、評議員会は寄附行為の規定に基づいて開催され、理事会が学校法人の意思決定機関として適切に運営されている。教授会は学則及び短期大学部教授会規程により運営されている。教職員の就業に関する規程は整備され、人事管理は適切に行われている。

財務運営は経理規程などにに基づき円滑に管理運営されており、財務に関する関係書類も整理されている。財務体質は、短期大学部門においては課題があるが、学校法人全体は収支均衡が取れている。

自己点検・評価を行う組織及び規程などは整備されている。また、平成 17・18・19 年度に報告書が作成され、図書館、本協会、大阪私立短期大学協会加盟校に配布し、ウェブサイトなどで公表している。

## 2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質の保証を図り、加えて短期大学の主体的な改革・改善を支援して、短期大学教育の向上・充実に資することにある。そのために、本協会の評価は、短期大学評価基準に基づく評価、すなわち基準評価的な性格に加え、短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する評価、すなわち達成度評価的な性格を有する。前述の「機関別評価結果」や後述の「領域別評価結果」は短期大学評価基準に従って判定されるが、その判定とは別に、当該短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する観点から、本協会は以下の見解を持つ。

### (1) 特に優れた試みと評価できる事項

高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らしたとき、本協会は、当該短期大学の取り組みのうち、以下に示す事項については優れた成果をあげている試みや特に特長的な試みと考える。

#### 評価領域Ⅱ 教育の内容

- 入学時、基礎学力不足の学生に対して教養科目の中に基礎科学科目群を用意し、習熟度クラス編成をするなど、学力の充実に努めている。また、「少人数教育」を掲げた二級自動車整備士養成施設の認定科目では、単位未修得者に対して、再履修クラスを設けて対応している。
- 教員が学生と個別に対応する「アドバイザー制」を採用することにより、日頃から身近な学習指導、生活指導及び就職指導をする機会を作り、適切な個別指導が可能な体制を構築している。

#### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

- 卒業時に二級自動車整備士の資格を取ることを目標として、段階的な学内資格制度を定め、学生に学習目標の達成度を明示している。
- 四年制大学などへの編入学に積極的に取り組み、編入学希望者に対する成果をあげている。

#### 評価領域Ⅸ 財務

- 効率の高い機器に変更するなどのエネルギー転換計画が作成されており、省エネルギーに対する環境整備など適切な対応が行われている。

#### 評価領域Ⅹ 改革・改善

- 平成 11 年度に続いて、平成 18 年度に専門分野を同じくする北海道自動車短期大学との間で相互評価を実施し、平成 18 年度短期大学相互評価報告書として公表した。

#### (2) 向上・充実のための課題

本協会は、以下に示す課題などについて改善がされれば、当該短期大学の教育研究活動などの更なる向上・充実が期待できると考える。なお、本欄の記載事項は、各評価領域（合・否）と連動するものではないことにご留意願いたい。

#### 評価領域Ⅴ 学生支援

- 再履修者、卒業延期者、退学者が多い現状から、入試方法や学習支援の実施の体制について今後とも引き続き検討、工夫する必要がある。

#### 評価領域Ⅸ 財務

- 余裕資金は十分あるものの、短期大学部門の収支バランスの改善が望まれる。

#### (3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

### 3. 領域別評価結果

各評価領域の評価結果(合・否)を下表に示す。また、それ以下に、当該評価領域を合又は否と判定するに至った事由を示す。

| 評価領域                       | 評価結果 |
|----------------------------|------|
| 評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標 | 合    |
| 評価領域Ⅱ 教育の内容                | 合    |
| 評価領域Ⅲ 教育の実施体制              | 合    |
| 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果       | 合    |
| 評価領域Ⅴ 学生支援                 | 合    |
| 評価領域Ⅵ 研究                   | 合    |
| 評価領域Ⅶ 社会的活動                | 合    |
| 評価領域Ⅷ 管理運営                 | 合    |
| 評価領域Ⅸ 財務                   | 合    |
| 評価領域Ⅹ 改革・改善                | 合    |

#### 評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

建学の精神「偉大なる平凡人たれ」が確立しており、学生便覧の巻頭に創立者瀬島源三郎の人となりとともに明記されている。また、建学の精神をパネルで掲示している。

自動車工学科の人材の養成に関する教育上の目的「自動車工学科は、現代工学の集大成である自動車を理解するための工学基礎知識を持ち、人間性を豊かにする幅広い教養をも兼ね備えた、社会に貢献する人材を育成することを目的とし、二級自動車整備士の資格取得を教育目標とする」を学則に定めている。また、学科の教育目的・教育目標は教職員や学生に学生便覧、ウェブサイトなどを通じて公表され、周知されている。

教育目的・教育目標は自己点検・評価規程に基づいて毎年点検が行われている。

#### 評価領域Ⅱ 教育の内容

教育には建学の精神が反映され、自動車工学科の教育目的に基づいて教育課程は体系的に編成されている。教育課程は二級自動車整備士養成施設として、卒業要件のうち多くの専門教育科目が必修科目となっているものの、一方で一般教養科目にあたる人間科学科目群及び基礎科学科目群及び専門選択科目群に選択科目を多く配置し、幅広い教養分野と専門分野に関する教育を行っており、学生の多様なニーズにも適切に対応した教育課程が編成されている。

シラバスは、授業計画書として作成するだけでなく、年度初めに全学生に冊子として配布され、概要・授業目標、授業計画、テキスト・参考書などの内容が記載されており、授業の概要を示す十分な内容を有している。

### 評価領域Ⅲ 教育の実施体制

専任教員数は短期大学設置基準を充足しており、主要な専門分野に教育・研究実績を重ねた教員を配置し、教育目標の実現に努めている。教員は、授業担当、研究活動、学生指導などの業務に意欲的に取り組んでいる。

校地及び校舎は短期大学設置基準を満たしている。また、パソコン室、講義室、実験・実習室など、教育上の施設設備が整備され、多くの教室に授業で使用する機器・備品なども備わっており、教育環境がおおむね整備・活用されている。

図書館は併設四年制大学の図書館と共用しており、蔵書数、学術雑誌、AV 資料、施設設備、年間の図書予算などは、十分なものといえる。開館日数は全国平均を上回っている。地域への図書館開放、地域図書館との連携、ほかの図書館とのデータベースの共用などが行われている。

### 評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

各授業科目の特性に応じた方法によって、成績評価及び単位認定がおおむね適切に行われている。資格取得への取り組みも、二級自動車整備士の受験資格の養成施設となっている以外に、各種資格の取得率は高い実績があり、また四年制大学への編入にも適切に対応しており、教育目標の達成に向けて努力が認められる。さらに、学生の能力水準を卒業時に保証する「学内資格制度」を導入するとともに、「アドバイザー制」の採用による学生の個別指導を実施しており、これらの学生に対する修学指導に関する教育効果に一定の成果をあげている。

一方、卒業生の就職先や編入先の四年制大学からの意見を求めるとともに、卒業生自身にも学生時代の満足度に関するアンケートを実施しており、学生の卒業後評価に積極的、組織的に取り組んでいる。

### 評価領域Ⅴ 学生支援

入学に関する資料では、建学の精神や教育目標を明示し、アドミッションポリシーや入学選抜方針、入試方法が整理されており、受験生に対する対応は適切である。また、入学者の選抜は公正かつ適正に実施され、入学者に対する学習や学生生活のためのオリエンテーションは適切に行われている。キャンパス・アメニティの多くは併設四年制大学との共同利用であり、学生の満足度も高い。

進路支援は、当該短期大学の専任教員も関わった併設四年制大学との共有のキャリアセンターを中心として行われているが、学生の実態を理解した当該短期大学の専任教員による職場開拓、企業訪問、就職相談が行われている。また、併設四年制大学の学部への編入のシステムも整備されているなど進路支援が適切に行われている。

留学生支援は、入試において留学生枠を設け、留学生のための専用科目、日本語 e ラーニングの受講などにより、コミュニケーション能力や日本文化の理解を支援し、授業料減免や留学生向けガイダンスなども行われている。

## 評価領域Ⅵ 研究

教員の研究活動には個人差が認められるものの、その活動状況が学内外に公開されるとともに、数年間にわたるグループ研究やプロジェクト研究に組織的に取り組み、外部からの研究資金調達にも実績をあげていることから、教員の研究活動が円滑に展開されている。また、研究活動を進めるための研究補助費及び海外出張を含む旅費の支給に関する規程も整備され、毎年研究計画に沿った予算額に応じて必要な機器、備品、図書なども購入でき、各種所属学会、学園報、教育年報、研究所所報などを通じて研究成果を発表する機会もある。さらに、研究室と原則として週 2 日の研究日（研修日）が教員一律確保されるなど、教員が研究活動を行うための条件が整備されている。

## 評価領域Ⅶ 社会的活動

併設四年制大学の市民講座に当該短期大学として参加しているが、回数や講座が少なく、より積極的な関わりが期待される。自動車を持つさまざまな問題点を、市民講座において分かりやすく解説するとともに、研究開発の成果を報告するという活動をしている。過密なカリキュラムの中では、短期大学として学生の社会活動に積極的に関わる機会を確保することは難しいが、学内美化など教育活動のあらゆる機会を通して社会人としての素養を広く体験させる努力がなされている。

国際交流などのプログラムとしては、1年次の英語海外研修としての実績があり、教員の海外発表や国際会議出席などは毎年度 3 人から 10 人程度の実績がある。

## 評価領域Ⅷ 管理運営

理事会、評議員会は寄附行為の規定に基づいて開催され、理事会が学校法人の意思決定機関として適切に運営されている。理事長は寄附行為の規定に従い、当該短期大学の運営に適切なリーダーシップを発揮している。

教授会は学則及び短期大学部教授会規程により運営されている。事務組織は、学校法人関係の規程、組織・事務関係の規程に基づいて法人全体をつかさどる組織として構成され、事務処理の環境も適切に整備されており、事務諸規程に基づいて適正に運営されている。

教職員の就業に関する規程が整備され、人事管理は適切に行われている。教職員の健康管理は、保健管理センターが実施している。

## 評価領域Ⅸ 財務

財務運営は経理規程などに基づき円滑に管理運営されており、財務に関する関係書類も整理されている。監事の機能及び公認会計士への対応も適切である。

財務体質は、学校法人全体の収支は均衡しているが、短期大学部門においては、収入の減少と支出の増加のため、支出超過となっており、財務体質の改善を図ることが望まれる。

固定資産の管理に関する規程が整備されており、備品・図書などが適切に管理されている。



## 評価領域X 改革・改善

自己点検・評価を行う組織及び規程などは整備されている。また、平成 17・18・19 年度に報告書が作成され、図書館、本協会、大阪私立短期大学協会加盟校に配布し、ウェブサイトなどでも公表している。

平成 11 年度に続いて、平成 18 年度に専門分野を同じくする北海道自動車短期大学との間で相互評価を実施して改善の努力をしている。自己点検・評価規程に準拠して、相互評価の実施は短期大学部自己評価委員会が中心となって活動している。